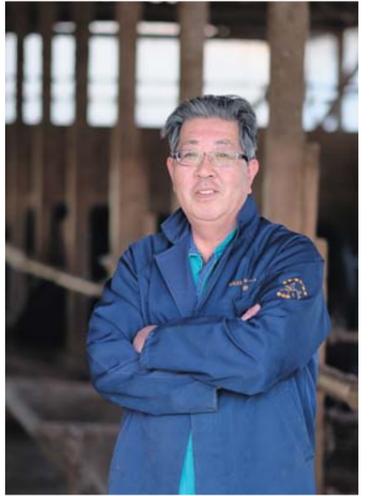


# 花巻ファーマー

## 地元根付いたブランド牛目指して「花巻黒ぶどう牛」



阿部 久穂さん  
(東和町田瀬 57歳)

皆さんはブランド牛「花巻黒ぶどう牛」をご存知でしょうか。平成24年に誕生したこの牛は、宮沢賢治の寓話「黒ぶどう」にちなんで命名。エーデルワインの製造行程の副産物「ブドウの搾りかす」を食べ、育てた黒毛和種の牛です。現在、市内9件の農家で約250頭が飼育されています。今回紹介する阿部久穂さんも花巻黒ぶどう牛を生産するファーマーの一人です。東和町田瀬のどかな中山間地にある3棟の牛舎で、肥育24頭、繁殖5頭、子牛5頭を飼育。年間約14頭の花巻黒ぶどう牛を出荷しています。



牛に与えるフドウの搾りかす。ワインのような甘い香りがします。

「東和牛」を飼育していた阿部さん。平成15年度東和町家畜共進会(肥育牛の部)で最優秀に輝くなど、町の畜産業をリードしてきました。同業者から声が掛かり、3年ほど前から花巻黒ぶどう牛の飼育を開始。平成30年からは、生産者やJAいわて花巻、県などで構成する「花巻黒ぶどう牛研究会」の会長に就任し、普及活動に力を注いでいます。脂がしつこくなく、まろやかな味わいが特徴の同ブランド牛。「花巻を代表する食材になってくれれば」と阿部さんは期待を込めます。

花巻黒ぶどう牛は市内の一部の飲食店や旅館などで味わえるほか、母ちゃんハウス「だあすこ」で金・土・日曜日に精肉が購入できます。

### 広げよう活動の輪

### 市民活動団体紹介

地域の高齢者を応援します

NPO法人 花巻イキイキ・わくわく・クラブ

【問い合わせ】  
NPO法人  
花巻イキイキ・わくわく・クラブ  
理事長 岩岡 信雄 さん  
(☎22-6067)

NPO法人「花巻イキイキ・わくわく・クラブ」では、地域の高齢者に在宅福祉サービスを提供する事業所「まちなかデイ」を運営しています。同団体は、利用者が安心して日常生活を送られるよう、生活機能の維持・向上を目的とした訓練を実施しているほか、入浴・食事をサポート。また、地元の演芸団体の協力による鑑賞会を行うなど、利用者同士や地域住民との交流を通じた、生きがいづくりの場も提供しています。



食事のサポートをしている様子



花巻イキイキ・わくわく・クラブの皆さん

## 市民生活コーナー

### 通信販売の定期購入に注意

#### ■どんな相談があるの？

○インターネットで「オーリンワン化粧品が100円」と表示されていたので、購入ボタンを押した。後で商品紹介をよく見たら、6回の定期購入が条件で、支払い総額が3万円となっていた。キャンセルを申し出たが、お客様の都合による解約はできないと言われた

#### ■注意することは？

○通信販売は▼商品の正規代金▼定期購入の回数▼

○テレビショッピングで、膝の痛みを和らげるというサプリメントが「1カ月分500円」と宣伝されていた。お試しのつもりで購入したが、4回の定期購入が条件だった。「2回目はいらぬ」と解約を申し出たら、1回目の正規代金を支払うよう言われた

#### ■困ったときは？

○新館市民生活総合相談センター(☎24221111内線259)へ

支払い総額▼返品の可否および条件などの表記が義務付けられている。内容を確認の上、購入するようにしましょう

○通信販売では、クーリングオフ制度が適用されません。「返品不可」の場合もあるので、条件を確認しておきましょう

COLUMN:Health

## 健康コラム

毎年6月4日～10日は「歯と口の健康週間」  
歯ブラシと補助用具の組み合わせで仕上げはバッチリ!

歯と口の健康を守るための基本は毎日の歯磨きです。今回は、歯ブラシと合わせて使うと有効な補助用具と、その使い方のポイントを紹介します。

#### ●補助用具①「歯間ブラシ」

歯間ブラシは、歯ブラシでは届きにくい歯と歯の隙間を効果的に清掃できます。特に、前歯や奥歯などの位置に適切なサイズのものを選んで使うと、取り除きにくい歯垢をしっかりと落とすことができます。

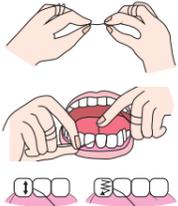


#### ●補助用具②「デンタルフロス」

デンタルフロスは、歯と歯の狭い隙間でもスムーズに清掃できます。デンタルフロスには、指に巻き付けて使うものや、既製品のものがあります。

#### 《デンタルフロスを指に巻き付けて使う場合》

- ①フロスを40～50センチで切り、左右の中指の関節あたりに2・3回巻き付ける
- ②人さし指と親指でフロスをピンと張り、歯と歯の間に入れて前後にスライドさせる
- ③歯の側面を上下に数回こする
- ④ゆっくりはすす



補助用具を活用するなどして、歯と口を清潔に保ち健康を守りましょう。

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)



## 地域おこし協力隊

協力隊にも新しい風が

- 広報担当 岡田 芳美 -

改元を迎えましたが、新元号「令和」という響きにはまだまだ慣れませんね。昨年度は「イーハトーブ地域おこしプロジェクトチーム」としても新陳代謝の年度となりました。6人が卒業(うち5人が定住)し、3期生5人が着任。頼もしい新隊員が加わった9人体制のプロジェクトチームに、まさに新しい時代を感じます。

早いもので、花巻市にUターンしてから3度目の春を迎えました。子どもも1歳8カ月になり、毎年恒例となる実家の稲の種まきでハウスの中を走り回り、作業の邪魔をするほど成長しました。

残りの任期はあと11カ月。退任後につなげたい活動として動き出しているのが、協力隊を含む移住者のサポートです。

私はUターンで夫はIターン、そして現在進行形の子育て。人生が大きく変わった自身の経験から、まずは移住者や子育て世代向けの交流イベントを開催する予定です。ゆくゆくは移住者と地元の皆さんをつなぐ役割を担えたらと思っています。ぜひお声掛けください。



◀ 稲の種まきでは、地域おこし協力隊の櫻庭隊員と佐藤隊員も手伝ってくれました